

經濟論叢

第 130 卷 第 3・4 号

哀 辞

故 中谷 實名誉教授遺影および略歴

設備投資決定のプロセスと基準 (1)……………浅 沼 萬 里 1

イギリス鉄鋼業新設工場における

労使交渉の展開……………菊 池 光 造 28

ナショナル金銭登録機会社における

予算システムの形成……………斎 藤 雅 通 54

ナチ雇用創出政策と再軍備問題……………後 藤 俊 明 75

現代フランスにおける農地の流動化と

その地域的展開……………石 月 義 訓 95

追 憶 文

中谷 實先生を偲ぶ……………岩 根 達 雄 115

中谷 先生を偲ぶ……………石 川 常 雄 123

経済学会記事

昭和 57 年 9・10 月

京 都 大 学 経 済 学 會

哀 辞

本学名誉教授 中谷 實 先生は 去る昭和57年4月20日に腎不全のため ご逝去になりました ここに謹んで哀悼の意を表します

先生は 昭和3年京都帝国大学経済学部をご卒業になり同4年経済学部講師 同13年京都帝国大学助教授 同21年教授にご就任 昭和43年ご退官にいたるまで 京都大学だけでも実に40年の長きにわたって ご専門の貨幣金融論の真摯なご研究 学生・後進の暖かいご指導に尽力してこられました その間昭和31年には経済学部長として 大学学部行政にも多大の貢献をされました

ご退官後も甲南大学教授 京都学園大学教授 さらに同学園大学学長とわが国大学教育界の要職をご歴任 斯界の発展と学術研究の振興に鋭意ご活躍になりました

先生はご専門の貨幣金融理論の諸問題の中でも とくに預金通貨の創出・供給の課題追究にご専念され 早くより本誌経済論叢に多数の論文をご発表 その成果は『預金通貨の研究』昭和8年、『新金融理論』昭和13年となって結実 さらに戦後アメリカ合衆国を中心に興隆した新しい金融諸理論をも 批判的に吸収され 昭和36年学位論文『貨幣供給理論の研究』として集大成されたのであります

昭和49年4月 勲二等瑞宝章叙勲の栄誉をお受けになりましたのも 学術研究・教育兩分野における先生の こうした偉大なご業績をたたえてのことにほかなりません 先生の演習において先生のご薫陶をうけ いま各界に活躍されます卒業生人士は500名にもおよび その皆様ともども 本経済学会に対する先生ご生前のひとかたならぬお力添えに深く感謝しますとともに つつしんでご冥福をお祈り申しあげます

昭和57年8月25日

京都大学経済学会